

こんなことが
決まりました

予算・条例等

3月定例会では、59件の議案等を審議しました。議論した議案等のうち、主なものを紹介します。

人口減少社会における公共施設の維持管理の方向性は

公共施設の今後の維持管理のあり方を検討するにあたり、本年1月に公共施設白書の中間報告が公表されましたが、適切な維持管理に向けて、これまで以上にコーディネート能力を高め、ていくよう、意見を付しました。

(予算額 946万円)

〈総務文教委員会での質疑〉

問 人口減少社会の到来を見ずえた公共施設の集約化や複合化に対する当局の考えは。

答 公共施設をこれまでどおり維持管理していけば、今後40年間で1,800億円という莫大な経費が必要となる。今後、維持管理に関して市民の皆さんのご意見をいただきながら、施設整理の方向性を示していきたい。



公表された公共施設白書 (中間報告)

「防犯カメラ設置に補助」 画像等の管理は

市民の安全・安心な暮らしを守ることを目的に、平成27年度から町内会を対象とした「防犯カメラ設置補助制度」が始まる

ことになりました。

(予算額 900万円)



津山市弓道場に設置されている防犯カメラ

問 防犯カメラで撮影した画像などの管理方法はどのようになるのか。

答 岡山県が定める「防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」に沿って設置した町内会において、管理責任者を指定し、適正な保存管理に努めるよう、関係町内会に周知を図りたい。

「城下地区まちづくり プラン策定に補助金」 市の参画は

津山商工会議所が中心となり、津山城周辺の現状分析などを行い、中心市街地の活性化に向けた計

画「城下地区まちづくりプラン」の策定に対する補助金を決定しました。

(予算額 290万円)



津山城周辺の町並み

〈産業委員会での質疑〉

問 プランの策定に向けて、津山市の参画はあるのか。またプラン策定後の市の対応は。

答 市はプラン策定に向けてオブザーバーとして参加している。城下地区まちづくりプランが策定された段階で、津山市の関係部署が連携して対応できるように情報の共有に努めている。